

一色町立一色中学校



< 9月4日 >

授業名人の愛知教育大学教職大学院准教授蜂須賀渉先生をお招きして、数学の見本授業を2年「一次関数」の単元で実施していただきました。

8月末の岡崎市を中心にした集中豪雨を教材化した授業でした。川の水かさが増す様子をグラフにする過程で、「堤防から川の水が溢れてしまうかも?!」という臨場感さえ漂い、生徒がその教材にぐいぐい惹き付けられていきました。本物がもつ力を実感しました。さらに、グラフの傾きを意識付けるために、直角三角形を使われました。生徒の表情から納得しながら理解していく様子が手に取るようにわかりました。具体物の有効性を再認識しました。

< 9月11日 >

授業名人の蜂須賀渉先生をお招きして、数学の授業を参観していただきました。授業の反省会で蜂須賀先生は次のように言われました。「生徒の反応を見る余裕がある。だから、それに応じて自分で予め考えていた展開を修正しながら、授業を進めることができるようになってきた」「生徒が実感を伴って学ぶように授業を仕組むことができるようになってきた」本事業の成果が現れてきました。



< 10月23日 >

授業名人の蜂須賀渉先生をお招きして、11月20日に行われる公開授業の指導案と授業を語る会についてご指導をいただきました。

「何がやりたいか」という授業者の思いを引き出し、その思いの背景にあるもの（生徒の実態や指導観）を明らかにしていかれました。そして、本時を価値付け、そのための教師支援を中心に指導をいただきました。

また、授業を語る会については、蜂須賀先生が本会（数学）の参加者を生徒に見立て、見本授業を行うというわくわくするような計画ができてきました。